

## 主日礼拝

2023年5月14日  
午前10時30分

前奏 「何ひとつ持たないで」(T.タマリ)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「どのようなときも、わたしは主をたたえ  
わたしの口は絶えることなく賛美を歌う。  
わたしの魂は主を賛美する。  
貧しい人よ、それを聞いて喜び祝え。  
わたしと共に主をたたえよ。  
ひとつになって御名をあげよう。」  
(詩編 34 : 2~4)

## 頌栄 26「グロリア」

グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に  
グロリア グロリア グロリア せいなる霊に

## 信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子、我らの主イエ・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、ホ・ソ  
ホ・ピ・ソのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死  
にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちより  
よみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐した  
まへり、かしこより来たりて、生ける者と死ねる者と  
を審きたまはん。  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、  
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の命を信ず。  
アーメン

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあげさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32「キリエ・エレイソン」

キリエ エレイソン キリエ エレイソン  
しゅよあわれみを しゅよあわれみを  
キリエ エレイソン  
しゅよあわれ - - イソ  
しゅよあわれ - - みを

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを  
\*「キリエ・エレイソン」は、「主よ、あわれんでください」という意味。

## 聖書 ルカによる福音書 7:1~10

新約(新共同訳) P114~P115

1 イエスは、民衆にこれらの言葉をすべて話し終えてから、カファルナウムに入られた。2 ところで、ある百人隊長に重んじられている部下が、病気で死にかかっていた。3 イエスのことを聞いた百人隊長は、ユダヤ人の長老たちを使いによつて、部下を助けに来てくださるよう頼んだ。4 長老たちはイエスのもとに来て、熱心に願った。「あなたの方は、そうしていただくのにふさわしい人です。5 わたしたちユダヤ人を愛して、自ら会堂を建ててくれたのです。」6 そこで、イエスは一緒に出かけられた。ところが、その家からほど遠からぬ所まで来たとき、百人隊長は友達を使いによつて言わせた。「主よ、御足労には及びません。わたしはあなたを自分の屋根の下にお迎えできるような者ではありません。7 ですから、わたしの方からお伺いするのさえふさわしくないとおぼやかしかったです。ひと言おっしゃってください。そして、わたしの僕をいやしてください。8 わたしも権威の下に置かれている者ですが、わたしの下には兵隊がおり、一人に『行け』と言えば行きますし、他の一人に『来い』と言えば来ます。また部下に『これをしろ』と言えば、そのとおりにします。」9 イエスはこれを聞いて感心し、従っていた群衆の方を振り向いて言われた。「言うておくが、イスラエルの中でさえ、わたしはこれほどの信仰を見たことがない。」10 使いに行った人たちが家に帰ってみると、その部下は元気になっていた。

## 賛美 566 「むくいを望まで」

Cast thy bread upon the waters  
詞：Phoebe A. Hanaford, 1829-?  
OFFERINGS  
曲：作曲者不詳

むくいをのぞまで - ひとにあたえよ、  
こは主のとうとき - みむねならずや、  
みずのえにおちて - ながれたねも -、  
いずこのきしにか - おいたつものを。

- 1 むくいを望まで 人に与えよ、 2 浅きころもてことをはからず、  
こは主のとうとき みむねならずや、 みむねのまにまに ひたすら励め。  
水の上に落ちて 流れしたねも、 風に折られしと 見えし若木の、  
いずこの岸にか 生いたつものを。 おもわぬ木蔭に 人をも宿さん。

## 説教 「声を聞き、共鳴するイエスさま」

## 賛美 463 「わが行くみち」

In some way or other  
詞：Martha A. Cook, 1806-1874  
PROVIDENCE  
曲：Martha A. Cook, 1806-1874

わ がゆくみち いつか になるべき  
かはつゆしらねど、主はみこころな  
したまわん。(くりかえし)  
そなえたもう 主のみち  
をふみてゆかん、ひとすじに。

- 1 わが行くみち いつかに  
なるべきかは つゆしらねど、  
主はみこころ なしたまわん。  
そなえたもう 主のみちを  
ふみて行かん、ひとすじに。
- 2 わが心よ、強くあれ。  
ひとはかり 世はうつれど  
主はみこころ なしたまわん。  
そなえたもう 主のみちを  
ふみて行かん、ひとすじに。
- 3 あらうみおも うちひらき、  
すなはらにも マナをふらせ、  
主はみこころ なしたまわん。  
そなえたもう 主のみちを  
ふみて行かん、ひとすじに。

## 派遣

- 司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン

アーメン アーメン アーメン

## 後奏 「主よ、終わるまで」 (K.ローウェンベルグ)

司式 山野上 純子  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 玉理 照子